

日置わくわくデジタル革新宣言

人口減少、少子高齢化に伴う、働き手の減少などの様々な社会課題に対処するために、新たな価値の創造が必要です。そのためには、デジタル技術を活用した革新的な取り組みが欠かせません。

日置市は、「市民サービス」・「関係人口創出」・「行政運営」の3つの柱で、一人一人が変化をたのしみ、誰もが利用しやすく、人にやさしい「市民ファースト」のデジタル化に取り組み、持続可能なまちづくりを推進することを宣言します。

令和5年4月20日 日置市長 永山 由高

市民ファーストで進めるデジタル化

「市民サービス」

利用者の視点に立ち、デジタル技術を活用することで、市民サービスの利便性向上を目指します。

「関係人口創出」

デジタルを活用したマーケティングやプロモーションで日置市の魅力を広く発信し、「訪れたいまち」を目指します。

「行政運営」

デジタル技術を活用して、業務効率化を図り、人的資源を更なる行政サービスにつなげることで「持続可能な行政運営」を目指します。

主な取り組み

- 行政手続のオンライン化
- キャッシュレス決済の導入
- 高齢者等のデジタル活用支援
- LINEチャットボットの更新
- LINE「直して！道路・公園」の開設
- 遠隔相談窓口システムの導入
- デジタル窓口支援システム（書かない窓口）の導入

- デジタルマーケティングの強化
- ターゲットに伝わる情報発信
- デジタルコンテンツの充実
- メタバースの活用（ネオ日置計画）

- ペーパーレスの推進
- 電子決裁の導入
- チャットツールの活用
- WEB会議・テレワークの導入
- AI・RPA等の先進技術の活用